



プレスリリース

2020年4月17日

一般社団法人松本青年会議所 理事長 小林篤史
公益社団法人塩尻青年会議所 理事長 小松直哉
一般社団法人北アルプス青年会議所 理事長 高山典和

新型コロナウイルス感染拡大防止における連携について

新型コロナウイルス感染拡大が全国各地で勢いを増しております。
私たちの住み暮らす、長野県においても長野圏域、松本圏域には4月14日より新型コロナウイルス警戒宣言が発令されております。

今回、経済圏そして行動圏が近い青年会議所と連携を取ることで、この中信圏域に住み暮らす皆様へ感染拡大防止のメッセージをより強く発信できると考え共同声明を発信することに致しました。一日も早い終息を願い、青年経済人として責任ある感染拡大防止行動をとってまいります。

啓蒙ツールについて

今回、共通の啓蒙ツールとして「コロナ18」を採用致しました。この18の目標を地域に発信し実施していただく事が、早期終息に向けた一番の近道であると考えます。(コロナ18とは公益社団法人半田青年会議所の皆様が考案した地域をコロナウイルスから守るための18の目標です。)

特に強く訴えたい世代

当初、高齢者への感染リスクが高いと叫ばれておりましたが、ここに来て20～30代の若者への感染も増えてきております。同じ世代の私たちから強いメッセージを送り続けることが極めて重要であると考えております。子育て世代としての人との繋がり、社会人としても行動量・行動力が高い世代に発信する事でスピード感がある情報共有に繋がります。

地域を守るために

新型コロナウイルスの影響は経済面、教育面、精神面など多岐に渡ります。
私たち青年会議所は、過去の経験から学び、現在の状況を正確に捉えた上で、これからも地域の未来に必要なことを会員全員で議論してアクションを起こしていくことをお約束申し上げます。

以上